

教材開発：株式会社エキスパート



※種証・認定の人材開発支援助成金はPマークリングをお透いたします。

企業AI研修 ライモ Biz

全15章オンライン映像教材 | 人材開発支援助成金 (リスキリング支援コース) 対応



「AIが使えなかったのは、 御社のせいじゃありません。」

2026年、AIは"別物"になった。今度こそ、全社員が使いこなせる。

提供：株式会社ライモ（エキスパートグループ）
教材開発・品質管理：株式会社エキスパート

目次



ページ	セクション	内容
P3-4	背景・課題	なぜ今なのか／3大不安の解消
P5-8	サービス内容	ライモ Biz の全体像／カリキュラム／ 独自メソッド
P9-10	信頼と実績	導入効果／教材開発責任者 プロフィール・運営体制
P11-13	料金・助成金・ メディア実績	料金プラン／助成金の仕組みと シミュレーション／出版・メディア
P14-15	導入ガイド	導入ステップ／よくある質問
P16	お問い合わせ	会社情報・連絡先

なぜ今、AI研修が必要なのか

なぜ今、AI研修が必要なのか

2026年、AIは"別物"になった。
以前ダメだったのはAIの側の問題。

① 「以前うまくいかなかったのは、御社のせいじゃない」

2024～2025年にAI導入を試みた企業の多くが、こんな経験をしています。

- ・企画書を作らせたらスカスカだった
- ・AI推進担当を決めたのに、その人しか使えず自然消滅
- ・セミナーでAIの話は聞いたが、自社でどう使えばいいか結局分からない

原因はAI側にあった3つの致命的な弱点です。



① 日本語が不自然



② 平気で嘘をつく
(ハルシネーション)



③ 普段の業務ツールと
繋がらない

② 「2026年、3つの弱点はすべて解消された」

	2024年	2026年
日本語	不自然・過剰敬語	そのまま送信できるレベル
正確性	自信満々に嘘をつく	嘘の頻度が激減
ツール連携	別サイトでコピペの往復	Gmail・Googleドキュメント内で完結
必要スキル	3つ	1つだけ（日本語で伝える）
使える人	IT人材のみ	メールが書ける人なら全員

③ インフラへの転換

AIは「エレベーター（あると便利）」から
「電気（ないと困る）」に変わりつつある



AI導入の「3大不安」を解消する

「情報漏洩・著作権・AIの嘘。
正しい知識と簡単なルールで、全部クリアできる。」

① 情報漏洩 → 法人版なら限りなくゼロ



Google Workspace法人版では、入力データはAIの学習に一切使われない

イメージ：「鍵のかかった個室でAIと会話している」ようなもの

「AIを使うリスク」より「使わないリスク」の方がはるかに大きい

② 著作権 → テキストはほぼ安心、画像は2つのルールで回避



ルール1：プロンプトに固有名詞を入れない
特定の商品名、人名などを避ける



ルール2：使う前に目視チェック
生成物が既存の著作物に酷似していないか確認

テキスト：AIは新たに構成 → ほぼ安心。画像・映像：2つのルールでリスクを大幅低減

③ ハルシネーション → 「ここだけ確認する」で十分

起きやすい（事実情報）	起きにくい（表現を扱う作業）
法律・制度 / 数値・統計 / 人名・日付	文章の書き直し・要約 / アイデア出し

「全部疑う」× → 「ここだけ確認する」○

まとめ

不安	対策	安心度
情報漏洩	法人版は学習に使われない	✓✓✓
著作権	固有名詞を避ける + 目視チェック	✓✓
ハルシネーション	事実情報だけ確認	✓✓

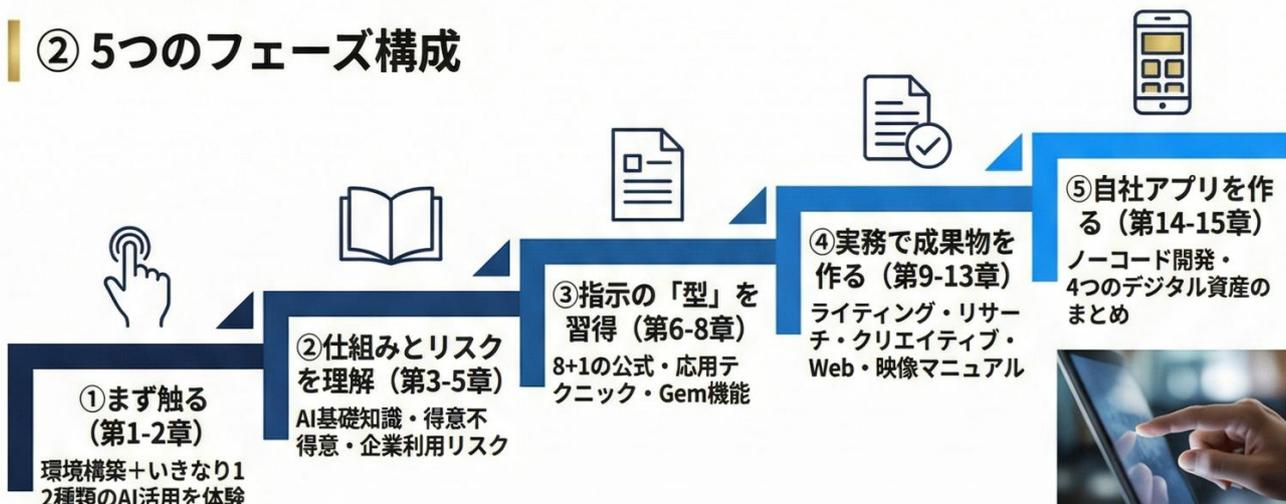
企業AI研修 ライモ Biz の全体像

「35万人への指導実績から生まれた全15章のオンライン映像教材。
ゴールは"4つのデジタル資産"。

① 基本情報

教材名	企業AI研修 ライモ Biz
提供形態	オンライン映像教材 (いつでも・どこでも・何度でも)
構成	全15章
主な使用環境	Google Workspace + Gemini
対象者	メールが書ける人なら全員
教材提供	株式会社エキスパート
教材開発責任者	七里信一 (延べ35万人に生成AIを指導)
販売・導入支援	株式会社ライモ (エキスパートグループ)
映像の総時間	約11時間

② 5つのフェーズ構成



理論から入らない。いきなり体験→理屈は後から。だから挫折しにくい。

③ 研修のゴール：4つのデジタル資産



使い続けられる成果物が残る。研修は消費ではなく投資。
4つのデジタル資産はすべて御社のGoogle Workspace上に構築。
担当者が異動・退職しても業務資産はそのまま引き継がれます。

カリキュラム詳細①（第1章～第8章）

前半テーマ：「体験から始めて、
プロンプト技術を完全習得する」



第1章【導入編】環境構築とセキュリティ

誤解の払拭、リスク理解、ツールのセットアップ

第2章 いきなり使える生成AI【12の即効テクニック】

スクリーンショット活用 / 音声入力 / Deep Search / 契約書チェック / Gem文章整形 ほか

→ 研修初日から業務が変わり始める

第3章 生成AIの基礎知識と導入

AIの仕組み / すべてをAIに任せてはいけない理由

第4章【基礎・リスク編】AIの実力と特性を知る

マルチモーダル全体像 / AIの限界

第5章 企業利用におけるリスク管理

ハルシネーション対策 / 著作権 / 情報漏洩の線引き

第6章【技術編】プロンプトエンジニアリング基礎 ★心臓部 独自フレームワーク「8+1の公式」を完全習得



①前提条件



②対象



③参考情報



④実行指示



⑤修飾語



⑥文章形式



⑦物理的形式



⑧スタイル



⑨制作者条件

第7章【応用編】プロンプトエンジニアリング応用

失敗改善 / Chain of Thought / 変数の活用

第8章 Gemini Gem機能の活用

Gemの作成・テスト・改善 / チーム共有

第8章終了時：「AI機能で業務を仕組み化できる」

カリキュラム詳細②（第9章～第15章）

後半テーマ：「AI技術を"実務の成果"と"組織の資産"に変える」



第9章【実務編1】ビジネスライティング

キャッチコピー、メルマガ、採用メール、
プレスリリース、議事録 ほか



第10章【実務編2】ビジネスリサーチ

Deep Research / 競合分析 / 3C分析

1～2日→数時間に短縮 業務時間短縮



第11章【実務編3】クリエイティブ素材制作

AI画像生成 / AI動画 / 音声合成

デザイナーなしで内製化 コスト削減



第12章【実務編4】Web構築講座

企画設計 / ページ構成の自動生成 / 業者への指示書



第13章【教育編】AI×映像マニュアル作成

台本→映像化 / 多言語展開

教育の属人化を解消 標準化・効率化



第14章【開発編】ノーコード自社専用アプリ開発 ★最終到達点

RAIMOミニアプリでノーコード開発

3事例：Q&Aボット / 日報アプリ / 広報文生成ツール



第15章【まとめ】4つのデジタル資産

①プロンプト ②Gem ③映像教材 ④ミニアプリ → 個人から組織へ展開

アセット	要着な率	アセット	アケット
①プロンプト	②Gem	③映像教材	④ミニアプリ
④ミニアプリ		→ 個人から組織へ展開	



全15章修了：4つのデジタル資産が御社のGoogle Workspace上に完成

研修の特長・他社との違い

「35万人の指導実績から生まれた独自メソッドと、挫折しない学習設計。」

6つの特長



①独自の
「8+1フォーミュラ」：
組織全体でAI活用を標準化



②体験先行・
理論後付け：
第2章でいきなり12種類の体験



③オンライン映像教材：
いつでも・どこでも・何度でも



④ゴールは
「4つのデジタル資産」：
消費ではなく投資



⑤業務経験がある
人ほど強い：
「経験がアドバンテージ」



⑥学んだスキルが
「会社の仕組み」に
変わる設計

他社比較表

比較軸	一般的なAI研修	ライモ Biz
学習設計	理論→実践	体験→理論
カバー範囲	プロンプト基礎のみ	基礎～アプリ開発まで全15章
成果物	知識のみ	4つのデジタル資産が残る
成果物の帰属	個人のスキルで完結	御社のシステム上に蓄積
フレームワーク	汎用テクニック集	独自の8+1フォーミュラ
対象者	IT人材・一部社員	メールが書ければ全員
助成金	非対応が多い	最大75%助成対応

助成金は審査制であり、支給を保証するものではありません。

導入効果 — 社員の仕事がこう変わる

「社員1人あたり月30時間。
10名で2人分の労働力が生まれる。」

① 業務別ビフォー・アフター

業務	Before	After	短縮
週次報告書	2時間	30分	△1.5時間/週
議事録作成	30分～1時間	5分	△30～55分/回
企業情報リサーチ	1～2日	約2時間	△数時間～1日
マニュアル更新	数日～1週間	数時間	△数日

合計：社員1人あたり月約30時間（約4営業日分）の時間短縮

② 組織への経営インパクト



新規2名採用（年間数百万円） vs AI研修10名（実質約53万円）

③ 現場の実例

 建設現場の職長 日報が10分で完成	 介護施設の60代スタッフ ケアプラン素案が 30分→5分	 歯科医院の受付 患者向け資料を AIで作成	 製造業の工場長（50代） 品質チェックリストが 10分で完成
---	---	--	---

共通点：ITの専門家が一人もない現場

④ 受講者の声



建設会社 現場職長（40代男性）

「正直、AIなんて自分には関係ないと思っていました。でも研修で触ってみたら、毎日1時間かけていた日報が10分で終わった。これなら俺でもできる、と思えたのが一番大きかったです。」

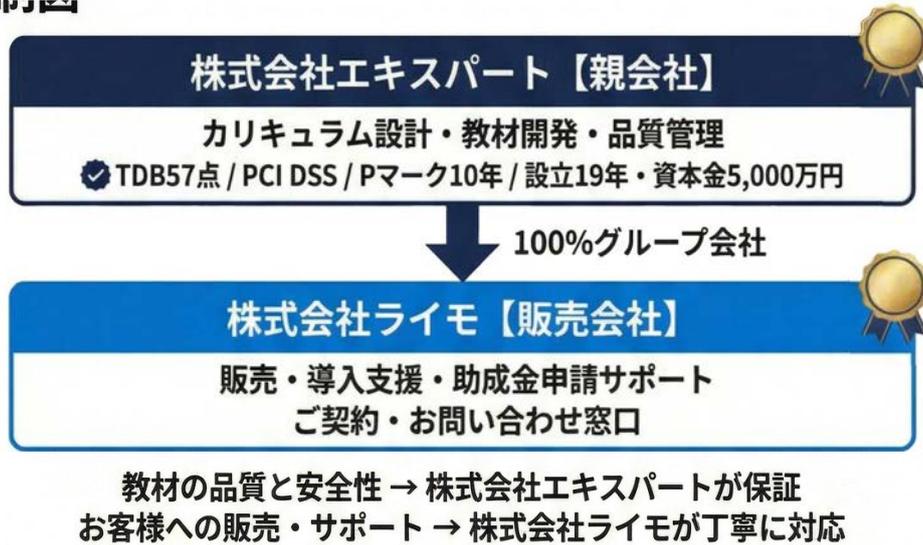


介護施設 介護スタッフ（60代女性）

「パソコンはほとんど使えません。でも、スマホで話しかけるだけでケアプランの素案ができた時は本当に驚きました。AIのおかげで、本来の仕事に集中できるようになりました。」

「教材の品質はエキスパート社が保証。
販売・サポートはライモ社が丁寧に対応。」

運営体制図



教材開発責任者



七里 信一（しちり しんいち）

株式会社エキスパート 代表取締役 / 企業AI研修 ライモ Biz 教材開発責任者 / 生成AIの学校「飛翔」学長

延べ35万人・4000社に生成AIを指導。33,000人の受講生を抱える国内最大の生成AI教育の第一人者。独自のプロンプト設計フレームワーク「8+1の公式」を考案。

実績

延べ35万人

AI関連セミナー参加者

4,000社

企業AI支援

33,000人

AIスクール「飛翔」受講者

6,000人規模

1 DAYセミナー参加者

約300社

代理店ネットワーク

30万人超

MAシステム「エキスパ」利用者

企業信頼性



料金プラン

助成金活用で**実質約5万円/人。**
5名から導入可能。

通常プラン（助成金活用）【おすすめ】

1名あたり
200,000円 (税込)

項目	内容
最低申込人数	5名～
利用可能人数	申込人数+2名（管理アカウント付き）
助成金活用時の実質負担	約25%（約5万円/人）
社労士サポート	提携社労士法人が申請を全面代行
契約主体	株式会社ライモ

助成金は審査制であり、支給を保証するものではありません。

投資対効果：



- ・ 実質5万円/人 → 毎月30時間（約4営業日分）の時間短縮
- ・ 10名導入 → 月300時間 ÷ 約2人分の労働力を毎月創出
- ・ 新規2名採用（年間数百万円）と比較しても圧倒的なコストパフォーマンス

※助成金の対象外の場合や、少人数で即時開始したい場合：

スピード導入プラン（1～3名・助成金なし）もご用意しています。1名200,000円（税込）～/管理アカウント2名付き/即日開始可能。詳しくはお問い合わせください。

助成金の仕組み・申請の流れ・シミュレーション

基本情報

項目	内容
名称	人材開発支援助成金（リスキリング支援コース）
助成率	経費助成＋賃金助成で約75%還付
対象	雇用保険適用事業所の従業員

助成金は審査制であり、支給を保証するものではありません。

申請フロー（企業側がやることは2つだけ）



STEP
①

キックオフMTG（オンライン30分・無料）
企業＋提携社労士

★企業が
やること



STEP
②

計画書の策定・提出
社労士が代行



STEP
③

研修実施（映像教材を視聴）
企業の社員



STEP
④

申請書類を確認して押印
企業（確認のみ）

★企業が
やること



STEP
⑤

助成金受給
—

企業がやること：①30分MTGに参加 ④書類を確認して押印。以上。

※AI研修の詳細を確認したい場合、説明会も開催しております。

社労士サポート



全面代行サポート

提携社労士法人が全面代行 / 手数料一律3万円（通常は数十万円）

助成金シミュレーション：10名受講の場合

項目	金額
研修費（20万円×10名）	2,000,000円
助成金還付(75%)	△1,500,000円
社労士手数料	30,000円
実質負担	530,000円

社労士手数料は、受講人数に関係なく上記金額となります。

「待つコスト」＋助成金の緊急性

1年先送り
→ 10名で450営業日
≒ 2人分の年間労働力を逃す



AIも教材も進化し続ける。
しかし助成金だけは来年の保証がない

注意事項：
助成金は後払い / 制度は年度予算のため来年の保証なし

導入までのステップ

通常プラン（助成金活用）

ここまで完全無料・義務なし

①		ご紹介者にお声かけ・詳細説明	無料 / なし
②		教材サンプルアカウントで品質確認	無料 / なし
③		キックオフMTG（オンライン30分）	無料 / なし
④		社内検討・申込み判断	御社の自由
⑤		株式会社ライモとご契約	—
⑥		社労士が計画届を代行提出	—
⑦		研修開始（映像教材の視聴）	—
⑧		研修修了・社労士が支給申請を代行	—
⑨		助成金受給	—

安心ポイント： STEP③まで完全無料・義務なし
対象外であればそこで終了
「いつでもやめられる」が前提

スピード導入プラン：

お問い合わせ

ライモとご契約

即日～数日で研修開始

企業側で必要な準備：

- Google Workspaceの契約
- PC・インターネット環境

Google Workspace



よくある質問 (FAQ)

【受講について】

- Q1** ITが苦手な社員でも大丈夫？
「メールが書ける人なら全員対象」です。介護施設の60代スタッフ、建設現場の職長など、IT専門家がない現場でも活用されています。
- Q2** ベテラン社員にこそ効果がある？
はい。「業務で何が必要かを知っていること」が最重要。経験豊富な方ほどAIの価値を最大化できます。
- Q3** 視聴期間は？
受講開始日から**6ヶ月間**、すべての映像教材をいつでも繰り返し視聴いただけます。

【助成金について】

- Q4** 申請は面倒？
企業がやることは2つだけ。①30分MTGに参加 ②書類を確認して押印。提携社労士が全面代行いたします。
- Q5** うち是对象？
キックオフMTGで、概ねの受給可否は判断できます。
- Q6** 研修費は先払い？
はい。先に研修費をお支払い → 修了後に申請 → 後日助成金が支給されます。

【契約・運営体制について】

- Q7** 契約はどこで結ぶの？
販売会社の株式会社ライモとのお取引です。
教材の品質管理は親会社の株式会社エキスパートが担当しています。
- Q8** AIを学んだ社員が副業や転職に使ってしまうのでは？
成果物はすべて御社のGoogle Workspace上に構築される「会社の仕組み」です。担当者が変わっても業務資産は引き継がれます。
「教えたら辞める」のではなく「教えないから辞める」時代です。
- Q9** Google Workspace以外でも受講可能？
本研修はGoogle Workspaceの利用を必須としています。
AIを活用する環境として現時点で最も優れていると判断しているためです。
- Q10** 社内でCopilotやChatGPTを使っていますが？
既存ツールの全置き換えは不要です。
本研修でGoogle Workspaceを使う理由：
①コスト面で最も有利 ②社内共有・共同編集との連携
③ほとんどの方がGmailアカウントを持っている。
- Q11** カスタマイズは可能？
汎用設計のため、そのまま幅広い企業に活用いただけます。
自社業務への応用はGem機能やプロンプト設計で柔軟に対応可能です。

※その他、お問い合わせは紹介者または代理店の方にお気軽にご連絡ください。



お問い合わせ・会社情報

まずはご紹介者・代理店にお声がけください



教材サンプルアカウント
を無料発行



キックオフMTG：
オンライン30分・無料



お問い合わせはこちら

お問い合わせ

項目	内容
会社名・担当	株式会社横濱社中 古梶(コカジ)、齋藤、三森
所在地	横浜市中区山下町51-1 読売横浜ビル8階
電話番号	045-680-1747
メールアドレス	ai-biz@yokohama-shachu.com
WebサイトURL	https://yokohama-shachu.com/

教材提供

項目	内容
会社名	株式会社エキスパート
代表者	代表取締役 七里 信一
設立	2007年8月（創業19年） / 資本金 5,000万円

信頼性



帝国データバンク評点57点



PCI DSS取得



プライバシーマーク10年維持

教育実績

延べ35万人

33,000人

約300社

AI関連セミナー参加者 AIスクール「飛翔」受講者

代理店